

きらっと

市民活動や地域活動に取り組む皆さんを紹介します。



よこい ぎんぎんをわゆく

芸濃ふるさとガイド会

昨年の11月、芸濃地域で初めての観光ボランティアガイド「芸濃ふるさとガイド会」が発足しました。「昨年3月に退職して時間が出来たところ、地域の史跡などについての勉強会に誘われました。以前から歴史には興味があったので参加したのですが、そのころは、この勉強会がガイド会になるとは思いもよりませんでした」と語るのは会長の駒田富士雄さん。

地域を再発見

紅葉がきれいな河内渓谷では、平日の昼間にかかわらず、大勢の人が訪れていて驚いたそうです。「メンバーは芸濃生まれの芸濃育ちで、身近にあった史跡や観光スポットなどが特別なものという感覚があまりありませんでした。勉強会に参加することで、見慣れた風景や史跡には、さまざまな歴史があったり、いわれがあったりすることが新鮮でした。地域を見直すことで、あらためてふるさとへの愛着や誇りが生まれたのではないかと思います」といいます。現在も毎月「例会」を行い、各自が資料を持ち寄って勉強し、実地研修にも積極的に取り組んでいます。知りたいことや興味のあることを学んでいるので、みんな楽しんで続けることができているとか。

町おこしの一翼として

安濃川沿いに「花街道」と地元で呼ばれる場所があり、春は桜のトンネルに、秋には彼岸花で土手が真っ赤に染まります。こういった住んでいるからこそ知っている地元の情報や見どころを、積極的にガイドに取り入れて、ガイドブックなどとは異なる個性豊かな案内を目指しています。

さらに、地域で教育や環境、福祉について取り組む「げいのうまちづくり協議会」などの地域づくりグループとも連携し、地域を盛り上げていけるのではないかと、活動の広がりにも意欲的です。

「ほっ」とするもてなしを

「今後は、この地域を訪れる皆さんをいつでももてなすことができ、地域の良さを感じられるような場所が町内にできればいいなと思っています。小さな道の駅のようなイメージで、誰でも気軽に利用でき、地元の人とのんびり会話を楽しめるような、ほっとする場所です。多くの人に印象に残るような仕掛け作りをしていきたいですね。ガイドについては、お気軽に芸濃総合支所地域振興課(☎266-2516)へご連絡を」と抱負を述べました。